

## 第5回摂津市総合計画審議会（第2部会）議事録

日時：平成22年1月15日(金)14:00～16:00

場所：摂津市立男女共同参画センター 1階 第1会議室

### 1. 議事

#### 事務局

あいさつ、資料確認

部会長 人と防災未来センター主任研究員の紅谷先生の紹介

出席担当課（交通対策課、自治振興課、総務防災課）の紹介

配付資料の説明（摂津市のまちづくりに関する中学生アンケート報告書）

#### 紅谷部会長

今日は、交通安全、防犯、防災の3テーマについて、検討を進めたい。また、もしも他の部会についての意見があれば、お願いしたい。

#### ■施策 自主・自立的な防災体制の確立を支援します。(2-4-19)

#### 紅谷部会長

（施策の基本方向、現状と課題、平成33年3月に実現している姿、指標、施策の展開について確認。）

#### 長尾委員

避難所として指定されているのは、ほとんどが小中学校や体育館となっているが、小学校などの公共施設の耐震改修はどうなっているのか。

#### 事務局

耐震診断を行った結果をもとに、年次計画を立て、補強工事を進めているところである。

#### 長尾委員

夜、災害が起こった場合は学校の門が閉まっているがどうするのか。そうした現状が適切に認識できていないように思う。

#### 和泉委員

摂津市の小学校に夜間、警備員はいるのか。

#### 総務防災課

夜は機械警備になっている。鍵は地元の自主防災組織に渡しているが、防犯面から誰で

も開けられるようにはなっていない。

#### 紅谷部会長

夜間の非常時に鍵を持っていけるなど、市の職員で当番を決めているなどといったことはしていないのか。

#### 総務防災課

台風等、事前の準備が可能な場合には対応できるようにしているが、それ以外で当番を決めるなどはしていない。

#### 和泉委員

機械警備をされているのであれば、学校の鍵を複数名で保管するなど検討してはどうか。

#### 自治振興課

台風等予測される場合は地域の連絡所に市職員が参集することになっている。職員の参集により鍵を持ち学校などへ行くことになっている。

また、地震の場合も同じことが言える。地震の場合は、校舎内に避難することも必要となるが、それよりも火災時にはグラウンドに避難することを想定している。

しかし、課題は防犯面である。公共施設としての役割と避難所としての両立は1つの課題である。

学校の耐震化は5年から10年の期間ですべて完了することになっている。

#### 和泉委員

緊急時であるので、校舎内など施設の中に入ることも運動場などに入れるかどうか問題だと思う。

#### 自治振興課

施設に加えて各小学校区に設置している防災用の器材を格納した倉庫についても管理を自主防災組織にお任せしている。これについては、自治会長など複数名で鍵を保管するようになっている。

#### 紅谷部会長

市の職員が鍵を開けることは実際には少ない。地元の方が開けることが多いので自主防災組織も含め市民の誰か複数名が鍵を持っておくとよい。

また、避難所の耐震化などについては基本計画に盛り込んでいければよいと思う。

### 和泉委員

避難所マップでは、一覧の中に「淀川河川公園」が載っているが、摂津市は川が非常に多いまちである。淀川だけではなく、大正川も一時的な避難場所とすればよいのではないか。検討していただきたい。

### 紅谷部会長

震災の場合、河川敷は避難場所となるが、水害の場合は危険地帯となる。地震の話と水害は分けて考えるべきではないか。現在の書き方では災害別の対応などが分かりにくいように思う。避難情報の適切な把握などについても明記しておくべきではないか。

洪水ハザードマップを見ると、家の2階にいても逃げられない場合がある。水害時の避難勧告の流し方など、水害に対する施策も必要ではないか。

### 和泉委員

摂津市には自主防災組織があるが、この組織はどういう人がメンバーなのか。

### 自治振興課

各小学校区単位で自治連合会があり、その中で防災部会を設置しているケースが多い。

### 和泉委員

台風など予測できる災害の場合には事前に避難勧告等の情報があった場合に対応できると思う。しかし、地震は予測ができない。もし、災害が昼に起こった場合は、若い人が少ない。比較的高齢者が多い自治連合会の自主防災組織ではこのような場合に対応することが難しいように思う。今後は自主防災組織に地域の女性の方にも参加してもらうべきではないか。そうすれば、昼間の災害にも対応できると思う。

### 紅谷部会長

自主防災組織の組織率は90%を超えているが、実際にはあまり活動されていないことが多い。今後10年間は組織率を伸ばすよりも活動割合や実際に災害対策を行っている市民の割合を伸ばすことが大切だと思う。また、組織のメンバーについても若い世代が参加していけるように検討が必要だと思う。

### 長尾委員

基本計画の37ページに自主防災組織率が92%とあるが、実際それほど組織として形づくられているかは疑問がある。

### 和泉委員

組織率とその組織が機能しているかは別問題だと思う。各小学校区において、この自主

防災組織が機能しているか検証する必要があるのではないか。

#### 長尾委員

例えば、消火器の使い方講習など防災に関する具体的な取組が必要だと思う。

#### 井関委員

各小学校区においてそのような取組を行っているという話は聞いている。ただ、それが具体的に機能しているかは別問題である。

#### 自治振興課

各小学校区での訓練はだいたい年1回行われている。200人から300人程度が参加し、11か所で行われるので年間で2,000人程度の方が防災訓練を受けていることになる。

ただ、組織率と活動率をどのように捉えるかは別問題だと考えている。

#### 和泉委員

摂津市には女性を中心とした消防団はあるのか。

#### 交通対策課

「婦人防火クラブ」という名称で、現在、3か所ある。

#### 和泉委員

こうした組織が今後さらに増えていけばよいと思う。

#### 自治振興課

摂津市の場合、消防団員の数が他市よりも多くなっている。比較的きめ細かく消防団が設置されているまちであると言える。火を消す力が他市より高いかは分からないが、地元でそうした訓練を受けられた方が比較的多いことは摂津市の強みであると思う。

#### 井関委員

消防団員が多いことは強みだと思う。しかし、昼間にはいない。昼間にそうした人たちも含め、若い人がいないことが問題だと思う。昼間の災害時の対応が不安である。

#### 紅谷部会長

消防団に関しては次回検討したいと思う。

最近、地域における高齢者や障害者などの要援護者の居住把握が個人情報保護の観点から難しくなっている。災害の際に要援護者を救出するためには地域と自治体の協力が必要となるが、この点についてはどこかに書かれているのか。要援護者の把握については、部

局を超えるものになる。ヨコのつながりを書いていけばよいのではないか。

#### **和泉委員**

独居高齢者や障害者に関する情報は民生委員が地域で情報を持っていらっしゃるのではないのか。

#### **事務局**

独居や寝たきりなどで高齢者サービスを利用している方についてのみ、民生委員が把握できるが、障害者については把握できない。しかし、市内全域ではないが、民生委員会の一地区では、要援護者リストを作成したと聞いている。

#### **紅谷部会長**

民生委員は独自で避難の支援まではできない。また、地域においても民生委員と自主防災組織という縦割りの壁がある。要援護者に対する方針、防災と福祉の部局間のヨコの関係や役割分担については総合計画の中で触れておくべきだと思う。

#### **和泉委員**

行政はどうしても縦割りになりがちである。防災と福祉の関係については文言を盛り込んでおけばよいと思う。

#### **自治振興課**

以前は民生委員が全市レベルの名簿を持たれていた。今は個人情報保護の観点から、その名簿を出すことも難しくなっている。民生委員もごく小さな地域レベルの名簿しか持たなくなっている。これは防災の部局としても一番困る問題である。大阪府も個人情報の取扱いに困っている。ただし、防災の部局として要援護者に関する情報を所有しておくことはやらなければいけないことだという認識は持っている。

#### **紅谷部会長**

個人情報の取扱いについては市民の方に同意を得る必要があるが、市民・地域の役割として文言を盛り込むべきだと思う。どこかで触れておかなければならない課題だと考えている。

#### **長尾委員**

阪神・淡路大震災の際、自治会の組織がしっかりしている地区は復興が早かったと聞くことがある。しかし近年、自治会への加入率が下がっている。子ども会や老人会も含めて何か対策をとらなければならないと思う。

### 和泉委員

戸建てとマンションという住宅形態の違いが影響していると思う。マンション形態の方は、マンション内でそうした組織に入られるため、地区全体の自治会には加入しないという方がいらっしゃる。この問題はどこの地域も抱えている問題だと思う。

### 平尾委員

戸建て形態でもお歳を召されることで役員や当番などができないといった理由などから加入されない方がいらっしゃる。災害の際などに援助が必要でありながら、自治会に加入されていないので非常に困ると思う。

### 和泉委員

各自治会に行政から補助金は出ているのか。

### 自治振興課

補助金は校区単位で出している。1年間で60万円程度が各校区に分配されている。今、摂津市の自治会加入率が7割弱である。加入率は年々減少している。

また、高齢者なので役員や当番ができないといった理由や近所づきあいを避けられる人も増えてきている。一方で自治会に加入されている方は熱心に活動に取り込まれるので二極化が進んでいると言え、この問題は今後さらに深刻になると思う。

### 紅谷部会長

自治会に加入されている方と加入されていない方で防災に対する関心が異なる。施策の展開で「地域団体による防災活動を支援する」ではなく、「多様な市民が防災活動に参加する」といった文言があればよいのではないかと。

### 和泉委員

先ほど話のあった婦人防火クラブの話もここに盛り込んではどうだろうか。既に組織している小学校区もあり、施策の展開として盛り込めば、今後、他の小学校区でも組織が増えるのではないだろうか。

### 紅谷部会長

婦人防火クラブの話も盛り込めたらと思う。また、摂津市は企業の多いまちである。災害時の協力など、企業への働きかけも必要となる。そうした企業との協力関係についても盛り込めればと思う。

### 和泉委員

摂津市は昼間人口が多い。そうした人たちに企業市民としての役割を担っていただくこ

とが期待される。このことも文言として盛り込めればと思う。

#### 紅谷部会長

企業には、災害時に事業を継続するための計画（BCP）を作成してもらうなど、行政は企業に積極的に働きかけを行う必要があると思う。

#### 和泉委員

2005年に起こったJR福知山線の脱線事故の場合は、事故現場付近の企業の方が被害者の救出活動を行ったと聞いている。そうした点で、企業の方は災害時に協力いただける存在だと思う。

#### 紅谷部会長

市民・地域の役割では、「非常持出品を備蓄」とあるが、「救助活動のためのノウハウ」などが必要ではないか。

#### ■施策 犯罪の少ないまちづくりをすすめます（2-4-18）

#### 紅谷部会長

（施策の基本方向、現状と課題、平成33年3月に実現している姿、指標、施策の展開について確認。）

#### 長尾委員

以前、犯罪が多かったまちにおいて犯罪を減らすためにまちの環境整備を行い、結果として犯罪が半減したという話を聞いたことがある。やはり、街路樹の整備や環境美化なども含めて、整然としたまちが求められるのだと思う。

#### 紅谷部会長

ポスターや壁の落書きなどが増えると自転車泥棒や犯罪が増えると聞いている。

#### 長尾委員

摂津市では「セーフティパトロール隊」の方は一体どんな活動をされているのか。今以上に価値のあるものにしていかなければならないのではないだろうか。

#### 紅谷部会長

35ページの「現状と課題」については、日本全体のことを書いているのか摂津市のことを書いているのか分からない。本来は摂津市における防犯組織の現状などについて書かなければならないと思う。内容について検討いただきたい。

### 自治振興課

先ほど長尾委員からお話があったように「セーフティパトロール隊」や「子どもの安全見まもり隊」などPTAの方々には熱心に活動していただいている。そうした活動についても本来はここに書くべきなのかと思う。検討させていただきたい。

また、防災と同じように防犯も地域がキーワードになるのかと思う。

### 紅谷部会長

「現状と課題」において、摂津市ではどのような犯罪が多いかをはっきりさせなければ、右側ページの「施策の展開」に具体的な方針を盛り込むことは難しくなる。

また、摂津市では防犯マップなどは作成されているのか。

### 和泉委員

現在、摂津市内に防犯灯はたくさんあるのか。

### 自治振興課

たくさんはないが、各自治会の要望に応じて設置している。しかし、要望が非常に多いので、要望全てに素早く対応はできていない状況である。今現在、約 6,300 の防犯灯がある。また、管理は自治会にお任せしている。補助金も出しており、金額としては北摂では多い方だと思う。しかし、十分に明るさを提供するには至っていないと認識している。

### 長尾委員

それは夜道を歩いていて人の顔が分かる程度という認識でよいのか。

### 自治振興課

その通りである。ただ、防犯灯を設置してほしいという要望が多い一方で、設置場所付近の住人からは苦情が出る。自治会にお任せしているのは、そういう点も考慮して必要な箇所について要望を出していただくためである。

### 和泉委員

京都のある地区では、各家庭にある常夜灯に明かりをつけていただくよう呼びかけている。明るくすることで犯罪の抑止力にもなる。地域や住民に呼びかけることも大事である。全てを行政に頼るだけではなく、住民側から提案し実行していくことも大切だと考えている。

### 紅谷部会長

36 ページ「市民・地域の役割」は、「活動」だけでは分かりにくい。子どもの見守り活動や地域の美化などもっと具体的に書き込むべきだと思う。

### 長尾委員

防犯対策となるかは分からないが、私の地区には空き家が多い。空き家が増えると犯罪が増えていくのではないかと思う。

### 和泉委員

商店街のシャッター通り化が進むことで、集客力も難しく、地域の商店街が成り立たなくなっている。商工会としても今後どうしていくのかと聞かれることが多いが、難しいのが現状である。これは摂津市だけではなく、全国的な問題である。商店街が地域のネットワークになればよいのだが。

また、美化についてであるが、市内の商店や企業に対して、月1・2回の美化提唱日を決めたり、各小学校区で行われている美化活動を働きかけていけばよいのではないか。

### 交通対策課

「道の日」の清掃は行っている。

### 紅谷部会長

ここに書いている内容以外に自分自身の経験として犯罪内容や、その予防策に対してご意見いただければと思う。

### 和泉委員

犯罪の抑止力として、各家庭で防犯ベルを取り付けるなど行政主導ではなく、地域から防犯対策を進めていければと思う。

### 自治振興課

地域で青色パトロール車を走らせている。こうした活動も犯罪の抑止力になるのかなと思う。

### 紅谷部会長

35 ページの指標で「市民の自主的な防犯組織の数」が載せられているが、これは今後も増えてくのか。また、防犯組織の数が指標としては適切なのか。

### 自治振興課

地域によっても形が違い、まだ組織されていない地域もある。

また、犯罪の中で最も多いのは自転車関連である。続いてひったくりが多い。そのため、指標として「防犯組織の数」が相応しいかといえば難しいところだと思う。

## 和泉委員

摂津市は大きな事件が少ない地域だと思う。これは繁華街がないためだと思う。

## 紅谷部会長

大型店が増えると犯罪者が増えるという話もある。これは、大型店が出店することにより知らない人が増えるためだと思う。

## 和泉委員

今後、南千里丘に人口が増えていくと予想される。そうした際に、摂津市は「安心・安全なまち」であることをアピールしていく必要があると思う。

市民一人ひとりが意識していかなければ、まち全体は良くなっていかないと思う。

## ■施策 交通事故の少ないまちづくりをすすめます (2-4-17)

### 紅谷部会長

(施策の基本方向、現状と課題、平成 33 年 3 月に実現している姿、指標、施策の展開について確認。)

### 和泉委員

主要幹線に歩道を付けていかなければならないと思う。安全意識の向上だけでは交通事故を減らすことはできない。

### 交通対策課

東西の主要幹線道路については現在、歩道の整備を進めている。また、そのために必要な用地買収も同時に進めている。

### 和泉委員

用地買収も必要だと思うが、用途地域の見直しも必要だと思う。用途地域の見直しは、行政が唯一できるソフト面での対策であり、見直せる箇所については早期に見直しを行い、計画を立てていくべきだと思う。適切な用途地域の配置を行えば、まちのレベルは必ず向上すると思う。

### 平尾委員

自転車と歩行者の間で起こる事故は増えているのか。歩道が狭く、自転車が通ると歩行者が危険である。一方で、車道を自転車が通ると自転車と自動車の間で事故が起こる危険がある。

#### 長尾委員

法律で自転車は歩道を通ってはいけないのでは？

#### 交通対策課

歩行者、自転車の両方が通れる歩道が摂津市内にも何か所かある。ただし、歩行者が優先となっている。

#### 長尾委員

たとえば、歩道で自転車走行可能な部分にカラーをつけて分かりやすくする。そうすると、お互いに気をつけるので事故が減ったという話を聞いたことがある。

#### 交通対策課

事故防止のための方策としては、皆さんがおっしゃるとおりである。ただ、摂津市内にはそれほどの道幅を有する道路がないのが現状である。

#### 和泉委員

歩道がある道の整備を今後進めていくということをしかりと書くべきだと思う。

#### 紅谷部会長

交通事故でいうと、どの地区に事故が多発しているか、また、どのような事故が多発しているか調べられているのか。

#### 交通対策課

事故としては出合いがしらの事故が最も多い。また、大きな事故としては中央環状線などの幹線道路で発生している。

#### 和泉委員

交通安全教室は小学校単位で行われているのか。

#### 交通対策課

交通安全教室は、小学校入学前の5歳児の子どもに横断歩道の渡り方などの指導を行っている。また、小学3年生を対象に自転車の乗り方などを指導している。

#### 長尾委員

交通安全教室において標識について教えたり、自転車免許の交付をしたりしているのか。

### 交通対策課

自転車の免許交付については、小学3年生の交通安全教室で行っている。また、信号や事故の模擬実験などを行い、指導を行っている。

### 和泉委員

今、自転車の話が出たが、それに付け加えて自転車駐輪場の整備を進めてほしい。特にJR千里丘駅は吹田方面からの乗降客も多い。この点は摂津市と吹田市が協力して課題を解決することを考えていただきたいと思う。

### 自治振興課

千里丘の西側はこれまで何度も計画が立案され、頓挫されてきた。今後の開発の課題は千里丘の西側と正雀地区だと考えている。3月の阪急摂津市駅の開業で、千里丘地区の人の流れは変わると思う。

### 和泉委員

南千里丘が開発され人口が増えてくると思う。地域と行政、住民が一体となって、今後10年のまちづくりを考えていかなければならないと思う。

また、高齢者が非常に元気である。こういった人材をしっかりと活用して、地域を一つにまとめていく必要がある。そういった内容も盛り込んでいければと思う。

### 紅谷部会長

運輸関係の事業者も多いと思うが、そうしたトラック業界と地域住民との関係はどうなっているのか。役割を書きしておく必要があると思うが。

### 交通対策課

春・秋の交通安全運動やキャンペーンなどご協力いただいている。

### 紅谷部会長

以上で、本日の審議は終わる。次回は、1月29日に市役所西別館2階、第6会議室で予定をしている。会場が異なるので気をつけていただきたい。

以上